

がん哲学外来市民学会 第1回大会



参加者は280名。熱気溢れる佐久勤労者福祉センター大ホール (樋野興夫会長の講演)



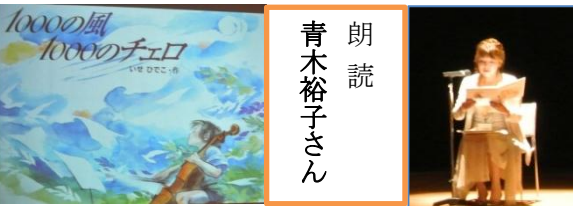
<ワークショップ>

各地のがん哲学外来報告

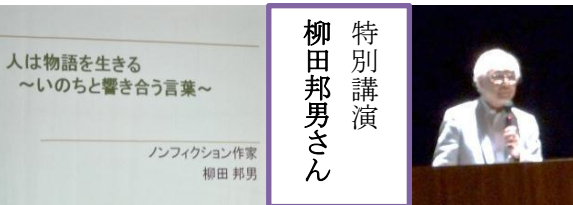


<シンポジウム>

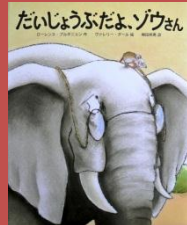
医療の隙間を埋める ～がん哲学外来の使命～



朗読
青木裕子さん



特別講演
柳田邦男さん



9月22日(土) 第二回コーディネーター養成講座
9月23日(日) がん哲学外来市民学会第一回大会

第2回コーディネーター養成講座



受講者で満席のがん哲学外来研修センター



講座1 日本のがん医療の現状 (安藤先生)



講座2 患者さんご家族と向き合っと思うこと



～白熱のグループディスカッション～

講座3 がん哲学外来コーディネーターの社会的ニーズと役割



<大会アンケートから>

・樋野先生のお話は、がん哲学のみならず、人間が人間と接する時の本来の姿、人間性が大きな括りとしてあるように感じました。大きな大きな学びを頂きました。ワークショップでは各地の活動を知ることが出来、地元でその様な団体が立ち上がった時、私にもできることがあるのかなと思いました。

<養成講座の感想から>

・参加者全員が真剣に考え出したものは、すべて答えにつながっていると思いました。明日のがん哲学外来市民学会を終えた時には、はっきりと自分の中での答えも出るとおもわれます。コーディネーター養成講座に期待していたものは得られたと思います。